

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		今回、初めてのことでアンケートの中で外出が少ないという意見がありました。高齢の為の機能低下で、外出時は普段使用していない方でも車椅子の使用をしなければ、危険である状態の方が増えています。それでも外出の機会を増やしたいと考えます。併設のDS車両の使用時間が限られていること、外出時の人員確保(普段より多くする事)が難しい等で、中々遠出が出来ません。	併設のデイサービスの車両を使用せず、近隣の散歩・施設の庭での外気浴、などを行っています。これからも継続します。ご家族様は遠方へ出かけることを望んで居るのかも知れませんが・・・	毎日の新聞取り・ゴミ捨て・玄関掃除は日課としてこれからも行ないます。既に、実行しています。	3ヶ月
2		身体機能低下の為、今後の直下型地震に対する災害対策。	年2回の避難訓練のほかに自主訓練を更に行之強化したい。	どんな地震でも、地震が来るたびにドアを開け、避難経路の確保に努めています。今後は委員会の職員にも協力を願いたいと思います。	6ヶ月
3		言葉使い・身体拘束虐待に対する取り組み	DSとGH合同の委員会で話し合う機会を増やす。GHの中だけでの委員を決めて実行していく。	すでに委員の選出をしています。研修に中々参加できずにいますが、GHの中だけでも話し合いの会議を開き、問題点がある時は即、話し合います。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。